

令和7年度 第2回北海道立釧路芸術館運営協議会議事録

日 時 令和8年2月5日(木) 午後2時00分～午後4時00分
場 所 北海道立釧路芸術館 アートホール

○出席委員 14名

○館出席者 7名

○釧路芸術館共同事業体運営委員会

運営委員会 委員長代理 1名、委員 1名

【議 事】(1) 報告事項(規則改正他)

(2) 令和7年度事業報告

ア 展覧会事業

イ 芸術・教育普及事業

ウ 作品収集状況

エ 令和7年度の新たな取組状況報告

(3) 令和8年度事業計画

ア 展覧会概要及びスケジュール

イ 芸術・教育普及事業

ウ 令和8年度の新たな取組等(案)

(4) その他

1. 開 会

館長より、令和7年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会を開催する旨の挨拶。

2. 挨拶

運営委員長代理が、さかなクン展の観覧者数が6千人を超えたことへの感謝や、本協議会では忌憚のないご意見をいただきたい旨を述べた。

3. 協議会成立について

館長が、本協議会の開催にあたり、終了時刻は午後4時を目途としたい旨を表明、次に委員数15名中過半数の14名が出席となり、運営協議会規則第7条により本協議会が成立する旨を宣言した。

4. 議 事

(1) 報告事項(規則改正他)

館長及び委員長代理が以下3点の報告を行った。

- ・運営協議会委員に関して、委任状による出席を認める条項を協議会規則に追加したこと。
- ・前回の協議会で上がった、維持管理費が近年高騰し、本質的な事業予算にしわ寄せがあるのではないかという懸念について、委託費に関しては5年間据え置きとなっていて増減がないこと、光熱水費の高騰に関しては、その分が北海道からの指定管理料増額でカバーされているため、事業予算に対する影響はないこと。
- ・前回の協議会で上がった、平成19年から22年にかけての年度別来館者数が7万人前後と多かった要因はという質問について、指定管理制移行後の平成18年度以降の展覧会事業観覧者と予算の推移を調べてみたところ、観覧者数は平成19年度の26,164人から平成22年度の35,384人まで、さらには25年度は31,131人と3万人前後の数で推移している。この間の展覧会予算は平成19年度から25年度まで2,440万円～約2,700万円で、それ以降は縮小傾向で現在は約2,000万円となっており、観覧者の数は予算の多寡に連動していることが窺える。
 ただ、そうした予算の制約がある中において、近年例えば6年度の「写真展・岩合光昭の日本ねこ歩き」は観覧者7,100人と、9年振りの7,000人越えとなり、観覧料収入も45,380千円と、館の単独展としては平成18年度以降で最高の数字となっており、6年度の観覧収入合計66,430千円も同じく最高となっている。その意味では限られた予算の中で、それなりに健闘できているのではないだろうか。今後もより良い企画を創意工夫厳選し、頑張ってもらいたい。
- ・前回の協議会で上がった、運営協議会への北海道教育委員会担当課の出席を、という意見については、出席を要請したが、業務の都合により出席できないとのことと本日欠席されている。

(2) 令和7年度 事業報告

館長より、展覧会事業の観覧者数や観覧料収入、事業費支出状況について報告。

続いて芸術・教育普及事業に関して報告を行った。さらに、2月14日には釧路新聞社長である星匠さんのプレミアムトークを予定していることを告知した。

展覧会事業の詳細や作品収集状況については、学芸主幹が報告。

また、芸術・教育普及事業について補足の説明を行い、令和7年度新たに行ったイベントとして、小学生以上を対象に写真への関心を高めてもらうための継続的な取り組みである、「釧路芸術館写真クラブ」を紹介。その中で、今年度は写真の仕組みをわかりやすく学ぶためのボックスカメラやサイアノタイプ(青写真)を製作したことを説明した。

最後に、館長が新たな取組状況について報告を行った。

〈令和7年度〉新たな取り組み状況の報告

1 連携事業（拡大）

イベント連携：第2回芸術館夏まつり、同秋まつり

地域連携：地域の文化施設や自治体による、さかなクン展同時開催
「北のおさかな界限」への協力

官民連携：①地元民間企業の展覧会協賛（3社、チケット購入等）
②くしろ水族館ぶくぶく、ANAクラウンプラザホテル
と芸術館との相互利用でプレゼント進呈

2 優待割引料金の活用

100円割引の拡充 木村伊兵衛展、さかなクン展の会期中特定日

3 誘客の促進（にぎわい創出）

メインストリート北大通などの路面店にポスター掲示を依頼

4 魅力ある教育普及事業の展開

プレミアムトーク「木村伊兵衛とその時代」

学芸員・美術講座「もっと知りたい木村伊兵衛」

子ども向け事業の拡充

① 写真クラブ

② こどもギャラリートツアー

③ 夏のワークショップ、冬のワークショップ

参加型事業

① みんなの釧根 こころの風景写真展

② みんなのおさかな絵画展

5 ロビー展示の拡充

従来からの「四季の像エスキース」、「啄木像」に加えて、
米坂ヒデノリ「三管編成オーケストラ」の一部

6 施設維持管理

水洗トイレの改修：1階女子トイレの洋式改造（実施済み）

空冷式チラーの更新

空調機ロビー系統・送風ファンの損傷

委員

アートシネマ館の上映作品について、過去3年ほど資料を見させていただきますと、洋画・邦画が半数ずつでバランスが良いと感じました。

一方で、釧路芸術館の作品収集方針の一つに「地域と芸術」がありますが、上映作品に釧路・根室をゆかりにしたものがないと感じましたので、権利の関係でなかなか難しいとは思いますが、是非来

年度はセレクトして欲しいです。

館長 今お話しいただきました、地域ゆかりの作品をとということですが、大切な視点でありますので、来年度に向けて検討させていただきます。

委員 オンラインアート教室にとっても興味を持ちました。学校教育の場でのオンライン授業はとても有効であると思ひまして、実際に足を運ばなくても、関りが持てたというのを子どもの時期に経験できるというのは良いことだと思ひました。
このような取り組みについては、年度初めの計画を立てる段階で、教育現場の先生たちに情報を提供されているということでしょうか。

学芸主幹 オンラインアート教室については、年度当初に各道立美術館のラインナップを集約して学校へ告知し、夏前までには1館あたり4～5校に対応するという事で決定されています。
今年度から当館独自の取り組みとして、釧路造形教育研究会という先生たちの集まりと連携しまして、学校への配信を行いました。こうしたことも、環境を整えながら続けていきたいと考えております。

委員 オンラインアート教室で一つお尋ねします。「札幌あいの里高等支援学校」の生徒さん119名に対して実施されたということですが、この人数は1コマの授業で対応されたということでしょうか。

学芸主幹 はい、そうです。

委員 大人数の授業への対応は、どのようにされていますでしょうか。

学芸主幹 複数回に分けて行うという方法もありますし、同時に行うというのもあると思ひます。

委員 周辺人口が減少する中で、芸術館のアートホールは手頃な定員数でコンサートを開催しやすいという声がかかるようになりました。昨年度は過去数年と比べてアートホールの貸館利用者が伸びているのではと思ひますが、実感されていますでしょうか。
もう1点ですが、私はこちらのホールでコンサートや上映会を鑑賞

する機会があります。コンサートに比べて上映会はじっと座っていて体をあまり動かさなくなるのもあり、座席の硬さが辛かったので、座布団があれば助かります。

館長 昨年度のアートホールの貸館利用者数は特段増えているということはありません。
それから、座席についてのご意見ですが、私もコンサートなどを鑑賞することがあり、実感しております。館内で対応を協議していきたいと考えております。

委員 私も文化団体連絡協議会の立場として、このホールは釧路のコンパクトシティに合っていて、利用しやすいと感じています。
音楽系のイベントがほとんどだと思いますが、開館から四半世紀以上経過しているのもありまして、ピアノのオーバーホールや調光設備の更新をしていただきたいと思います。

館長 調光設備については、大変心配しておりますので、例年重要度が高いものとして、更新を要望しております。
ピアノのオーバーホールにつきましても、必要性を強く認識しておりまして、芸術館の宝ですので、見積りをとって道教委に要望しているところでございます。

委員 私の方で意見をまとめて違う方向から要望することも出来ますので、必要に応じてお声がけください。

会長 他にご質問やご意見はございますでしょうか。
それでは、令和8年度事業計画についてご説明願います。

(3) 令和8年度 事業計画

館長が、展覧会事業の概要説明に続いて、新たな取組等について発表した。

「令和8年度の新たな取組等」

1 誘客の促進

積極的なPRの展開、多彩なイベントの実施など

2 連携事業の拡充

地域イベント連携：芸術館夏まつり、秋まつりの開催（継続）

3 割引料金の活用

100 円割引：展覧会毎に設定、芸術週間

団体割引料金：芸術館夏まつり、秋まつり、開館記念日

4 より魅力ある教育普及事業の展開

プレミアムトーク、学芸員による美術講座、オンライン講座の充実

5 施設の維持管理

次に、学芸主幹が個別の展覧会について、説明を行った。

夏には、北海道初公開のゴッホ「サン＝レミの道」の他、同時代の西洋・日本の画家の作品を展示する展覧会を開催することにも言及した。

会長 今のご説明について、ご質問等はございますでしょうか。
では、「議事（４）その他」について、ご説明願います。

（４）その他

館長 本協議会の議事録につきましては、会長にも内容の確認をして頂き、委員の方々のお名前を伏せた形でホームページにて公開いたしますので、ご了承頂きたいと思っております。
また、次回の運営協議会は令和８年８月上旬に予定しております。今回で委員の皆様の任期が満了となりますので、改めて新年度にご推薦頂いた上で委嘱の手続きをしたいと考えております。以上でございます。

会長 本日の議題は全て終了しましたが、ご発言はいかがでしょうか。
それでは、進行を事務局にお返しいたします。

館長 会長、円滑な議事進行、誠にありがとうございました。
運営委員長代理よりご挨拶があります。

運営委員長代理 委員の皆様は、２年の任期が満了となりますが、引き続き就任される方もいらっしゃると思っておりますので、その際にご協力・ご指導をお願いいたします。
設備の更新は、乗り越えていかなければならない課題と考えております。ホール座席の座布団につきましても、対応していきたいと思っております。
来年度は、ゴッホの作品が来るということですので、年度全体の展覧会も含めて力を入れて来館者増を目指して努めていきたいと考え

ております。

本日は貴重なご意見ありがとうございました。

館長 以上を持ちまして、本日の運営協議会を終了させていただきます。

これをもって、令和7年度第2回北海道立釧路芸術館運営協議会は閉会となった。